

アジアの子どもたちのために用いて
いただきたいと思います。(岩手)

2人目のチャイルドをご紹介
下さりありがとうございます。
スタッフのお働きが祝されるよう日々
祈っております。(北海道)



クリスマス期間に園児及びその家
族・職員が協力し合って貯めたお金
です。お役立てください。(宮崎)
「世界の子どもたち」のためにクリ
スマス献金を募りました。子どもた
ちの必要のためにお用い下さい。
(東京)

世界の子どもたちが
一人残らず食べたい
ものが食べられるよ
うに助けてください。
(千葉)

活動感謝します。
サポートチャイル
ドの成長が健やか
でありますように。
(京都)

教育支援のために
使ってください。
(滋賀)

空腹状態にある人、
子どもが世界からい
なくなりますように
わずかですが役立て
て下さい。(千葉)



2024クリスマス募金

世界の子どもたち
のためにクリスマ
ス募金を送りまし
た。子どもの必要
のために。(東京)



Child Supporter
チャイルドサポーター



あなたは僕の人生の中で、ずっと最高の友だち

“You have been my best friend in my life”



今、私は神様の愛を伝える働きのために南アフリカにい
ます。誰もが私のように現地へ行けるわけではありません。
でもサポートチャイルドを通して世界とつながり、子ども
たちの夢を応援することができます。それ
は本当に尊い恵みです。

ハンガーゼロの働きがこれからも
子どもたちに希望を届け続け、日本
の多くの人が自分のためではなく、
価値ある未来に捧げる喜びを知るこ
とができますように心からお祈りし
ています。

鈴木明日香

2019年2月、私はハンガーゼロのツアーでナイト
のライト(ハンガーゼロ親善大使)や横山大輔さんたちと
共にウガンダを訪れました。人生で初めてのアフリカは、
すべてが新鮮で、子どもたちの輝く笑顔が強く心に残りま
した。ナムトゥンバという地域で14歳くらいの男の子と出
会い、その子が「人生で一番嬉しかった日は、サポーター
が決まった日だ」と語ってくれた言葉に心を動かされ、帰
国後すぐにナムトゥンバの子どもの支援を始めました。
大学卒業後私は小学校の担任になり、受け持った子ども
たちと同じ年齢のケニスくんをサポートすることになりま
した。手紙を通して、牛を飼っていること、サッカー好き
なこと、将来の夢などを知るたびに励まされていました。
あれから6年間経ち、ある日ハンガーゼロの事務所の方
から、ナムトゥンバ地域での支援が終了することをお知ら
せ頂きました。しばらくしてケニスくんから最後の手紙が
届きました。その手紙には、“You have been my best
friend in my life”(あなたは僕の人生の中で、ずっと最
高の友だちだった)と書かれていました。
これを読んだ時私は、日本とアフリカという物理的にも
とりまく環境もかけ離れた中で、このサポーターチャイル
ドを通してしっかりとつながっていたのだな、と実感し深い
感動が押し寄せてきました。

